



# 令和4年度 沖永良部島・与論島 農業農村整備の概要



鹿児島県大島支庁沖永良部事務所

〒891-9111 鹿児島県大島郡和泊町手々知名134-1

農村整備課 TEL:0997-92-1321

農業普及課 TEL:0997-92-0164

【沖永良部事務所職員数54名(うち農村整備課15名,農業普及課12名)】



誰もが住んでみたい村に 農業農村整備





# 1. 概要

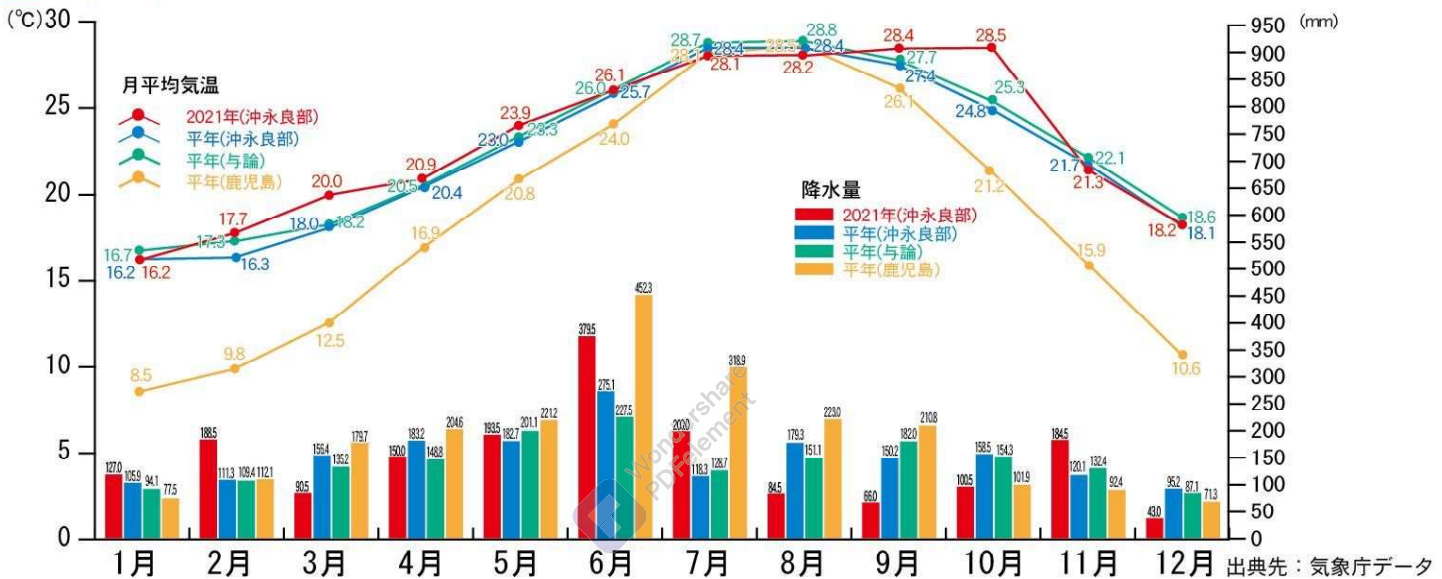
## 1 地勢

沖永良部島は、鹿児島市から南南西552kmに位置し、周囲55.9km、面積93.65km<sup>2</sup>で、和泊及び知名の両町で一島を形成している。全島の大部分が隆起珊瑚礁からなり、石灰岩や石灰砂よりなる新生代の琉球層群に覆われ、東西に細長く、最高標高は島の西部中央の大山（240m）である。また、島内には、石灰岩が地下水に溶かされてできた鍾乳洞が数多く見られ、比較的平坦地も多いことから、農地に恵まれているが、水源に乏しい地域である。

与論島は、沖永良部島の南西33kmに位置し、本県最南端の島であり、沖縄本島を間近に眺望できる。周囲23.7km、面積20.56km<sup>2</sup>の円形の島で、与論町の一島一町である。地理的状況は沖永良部島と類似し、琉球石灰岩からなる低平な段丘状の地形であり、農地に恵まれている。山岳や河川はほとんどなく、水源は地下水に頼っている。

両島ともに気候は亜熱帯海洋性で温暖多雨であり、沖永良部島の年平均気温は22.6℃、年平均降水量は1,856mm、与論島の年平均気温は22.9℃、年平均降水量は1,791mmである。

## 2 気象



# 2. 農業指標



## 1 面積・人口・戸数等

項目 町名	総面積 (ha)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	耕地面積(ha)			耕地率 (%)	農家人口 (人)	農家戸数 (戸)	戸当り 耕地面積 (ha)
				水田	畑	計				
和泊町	4,039	6,141	2,831	0	2,330	2,330	57.7%	1,678	698	3.34
知名町	5,330	5,668	2,668	3	2,110	2,113	39.6%	1,602	677	3.12
与論町	2,056	5,020	2,183	4	1,100	1,104	53.7%	1,751	771	1.43
管内計	11,425	16,829	7,682	7	5,540	5,547	48.6%	5,031	2,146	2.58
奄美計	123,117	102,933	48,797	57	16,706	16,865	13.7%	11,838	6,391	2.64
県計	918,638	1,576,488	725,855	35,200	77,600	112,800	12.3%	68,469	48,360	2.33

【出典先】

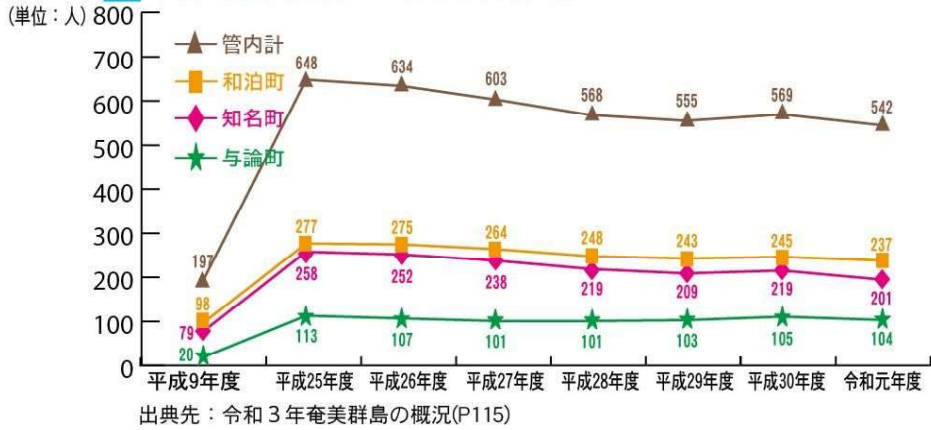
- (※1) 総面積は、令和3年度奄美群島の概況 (P10) 「国土地理院調べ (令和3年10月1日時点)」
- (※2) 人口は、令和3年度奄美群島の概況 (P57) 「県人口移動調査 (令和3年10月1日時点)」
- (※3) 世帯数は、令和3年度奄美群島の概況 (P57) 「県人口移動調査 (令和3年10月1日時点)」
- (※4) 耕地面積は、令和3年度奄美群島の概況 (P94) 「農林水産省・面積調査 (令和3年4月20日)」
- (※5) 耕地率は、(※4)÷(※1)
- (※6) 農家人口は、令和3年度奄美群島の概況 (P95) 「2020年世界農林業センサス」
- (※7) 農家戸数は、令和3年度奄美群島の概況 (P95) 「2020年世界農林業センサス」
- (※8) 戸当り耕地面積は、(※4)÷(※7)

(注) 統計の計算上、合計数値が一致しない場合があります。





## 2 認定農業者の年次別推移

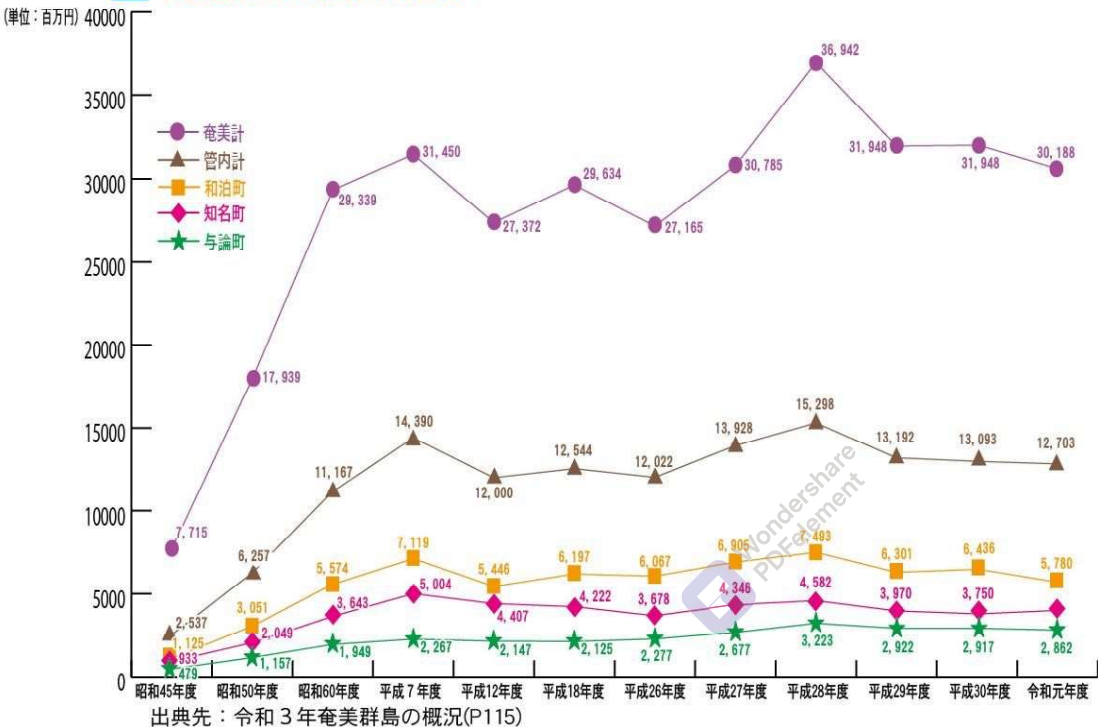


さとうきび



ばれいしょ

## 3 農業産出額の推移



きく (切花)

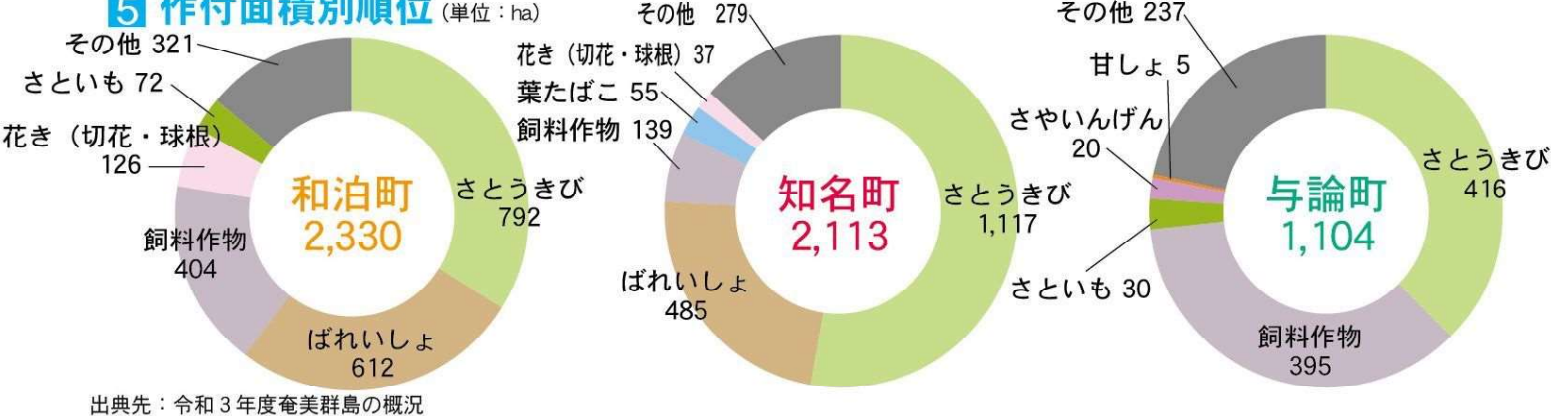


ゆり

## 4 作目別農業産出額順位



## 5 作付面積別順位



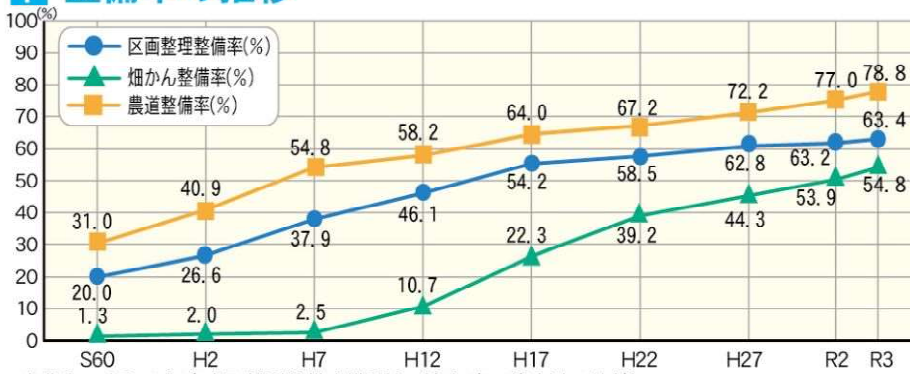


## 6 整備目標と整備率

町名	項目	区画整理・畑 (ha)			畑地かんがい (ha)			農道整備 (km)		
		要整備量	整備済	整備率(%)	要整備量	整備済	整備率(%)	要整備量	整備済	整備率(%)
和泊町		2,320	1,542	66.5	1,705	1,226	70.1	225	210	92.6
知名町		2,090	1,197	56.8	1,691	826	48.3	235	154	62.9
与論町		1,000	691	68.9	863	284	32.9	120	93	75.3
管内計		5,410	3,431	63.4	4,260	2,336	54.8	580	457	78.8
奄美全体		16,230	12,402	76.4	12,870	6,992	54.3	2,060	1,736	84.3
県全体		103,450	71,176	68.7	56,050	30,250	53.9	18,800	11,661	61.8

出典先：令和3年度市町村別整備水準調査（令和4年3月末現在）（注）統計の手法上、合計値は一致しないことがある。

## 7 整備率の推移



出典先：令和3年度市町村別整備水準調査（各年度、管内計で比較）



## 3. 令和4年度事業費



管内農業農村整備事業予算（令和4年4月現在）							（工雑事務費込） 単位：千円	
事業名		前年度			令和4年度			
		地区数	事業費	シェア率	地区数	事業費	シェア率	
県営	ハード	畑地帯総合整備事業（担い手育成型）	5	472,320	18.8%	5	406,500	22.2%
		畑地帯総合整備事業（担い手支援型）	15	1,538,791	61.3%	15	936,250	51.1%
		県営中山間地域農業農村総合整備	1	127,200	5.1%	1	83,020	4.5%
		農村地域防災減災事業（ため池）	2	200,200	8.0%	3	127,000	6.9%
		水利施設整備事業（基幹水利施設保全型）	1	29,600	1.2%	1	84,800	4.6%
		県営海岸保全施設整備（高潮対策）	2	132,550	5.3%	2	84,100	4.6%
		農業水路等長寿命化・防災減災事業	1	8,200	0.3%	5	48,300	2.6%
	県営用排水施設整備事業	-	-	-	1	40,400	2.2%	
	小計（県営ハード）	27	2,508,861	100.0%	33	1,810,370	98.9%	
	ソフト	その他調査事業等	-	-	-	1	16,300	0.9%
小計（県営ソフト）		-	-	-	1	16,300	0.9%	
小計（県営）	27	2,508,861	100.0%	34	1,826,670	99.8%		
団体営	ハード	農業基盤整備促進事業	-	-	-	1	4,040	0.2%
		小計（団体営ハード）	-	-	-	1	4,040	0.2%
	ソフト	その他調査事業等	-	-	-	1	500	0.0%
		小計（団体営ソフト）	-	-	-	1	500	0.0%
小計（団体営）	-	-	-	2	4,540	0.2%		
合計		27	2,508,861	100.0%	36	1,831,210	100.0%	





# 4. 畑かん営農の推進

## 1 畑かん営農の推進

**生産性の向上と安定生産**  
適時のかん水により作物の増収と安定生産を図る。



適時かん水による安定生産（さとうきび）

**営農の近代化・省力化**  
スプリンクラー等を利用したかん水による営農の近代化・省力化を図る。



液肥や防除を組合せた施設内散水（花き）

**新規作物・施設園芸の拡大**  
畑かんを契機とした新規作物の導入や施設園芸の拡大を図る。



新規作物の導入（実えんどう）

## 2 畑かん営農推進の活動



散水実演会

**散水実演会の開催**  
散水実演会等を開催し、畑かん営農の理解促進や水利用啓発を行う。

**水利用研修会等の開催**  
水利用研修会や栽培講習会を開催し、畑かん営農への理解促進や栽培技術の向上を図る。



水利用研修会



畑かんマスターによる水利用啓発

**畑かんマスターによる啓発**  
畑かん営農を先駆的に実践している水利用推進リーダー（畑かんマスター）を通じて、水利用の啓発・普及を図る。

**畑かん営農振興会による推進活動**  
畑かん営農振興会を組織し、水利用推進の活動や水利用体制づくりなどの活動を行う。



営農振興会の設立



さといも水利用展示ほ

**実証ほ・展示ほの設置**  
畑かんの水利用の効果を実証しPRを図るため、実証ほや展示ほを設置する。

**広報誌等によるPR**  
広報紙やPR映像による水利用啓発を行う。

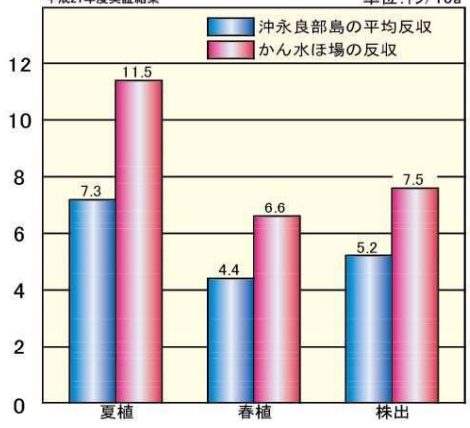


畑かん広報紙

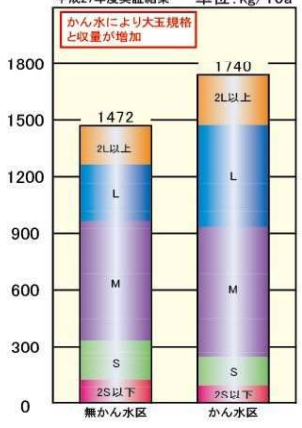
水利用PR映像

## 3 畑地かんがいの増収効果

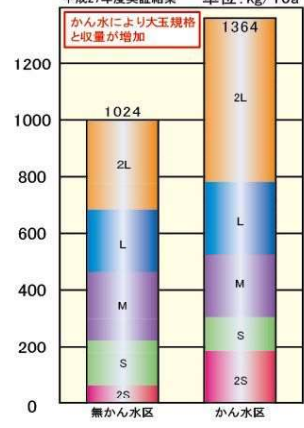
**さとうきび**  
平成21年度実証結果 単位: トン/10a



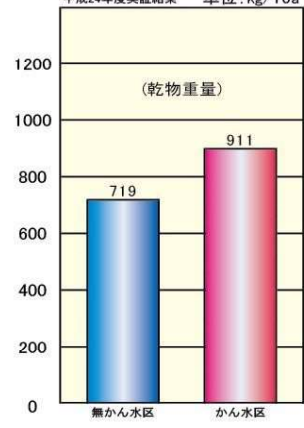
**ばれいしょ**  
平成27年度実証結果 単位: kg/10a



**さといも**  
平成27年度実証結果 単位: kg/10a



**飼料作物(ロス・グラス)**  
平成24年度実証結果 単位: kg/10a







# 5. 多面的機能支払交付金(水土里サークル活動)

- 国土の保全や水源のかん養, 良好な景観の形成など, 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に対し支援を行い, 地域資源の適切な保安全管理を推進します。
- 管内3町では, 農地全体の約83%に当たる4,669ヘクタールにおいて, 地域の特色を生かした保全活動が展開されています。また, 3町の全ての集落でこの活動に取り組んでおり, 集落カバー率は100%となっています。  
「水土里サークル活動」は多面的機能支払交付金を利用した活動の鹿児島県における愛称です。

## 活動の内容 (交付単価は畑の場合)

**農地維持支払** 【交付単価：10aあたり2,000円】  
農地法面の草刈り, 水路の泥上げ, 農道の路面維持など  
基礎的な保全活動



水路や農道の草刈り



排水路や沈砂池の泥上げ

## 資源向上支払

■ **共同活動** 【交付単価：10aあたり1,440円】  
※ 長寿命化に取り組む地区は1,080円  
水路や農道などの軽微な補修や農村環境保全活動



水路の補修



休耕地を利用した農村環境保全活動

■ **長寿命化** 【交付単価：10aあたり2,000円】  
水路や農道などの長寿命化のための活動



沈砂池の堆積物の除去

令和4年度 管内実施地区一覧表

町名	組織名	集落	活動期間		活動内容			認定面積 (ha)
			開始年度	終了年度	農地維持	共同	長寿命化	
和泊町	和泊町広域協定	21集落	R3	R7	○	○	○	2,038
和泊町 計 1地区								2,038
知名町	知名町広域協定	20集落	R3	R7	○	○	○	1,852
知名町 計 1地区								1,852
与論町	茶花環境保全向上支援隊	茶花	R元	R5	○	○		79
	立長資源環境保全組合	立長	R元	R5	○	○	○	130
	城農地環境保全組合	城	R元	R5	○	○		30
	朝戸環境保全向上支援隊	朝戸	R元	R5	○	○		55
	西区環境保全組合	西区	R元	R5	○	○		65
	東区農地環境保全組合	東区	R元	R5	○	○		125
	古里環境保全むらづくり組合	古里	R元	R5	○	○		125
	叶環境保全向上支援隊	叶	R元	R5	○	○		35
	那間農地環境保全組合	那間	R元	R5	○	○		135
与論町 計 9地区								779
								対象面積: 1,096ha
								カバー率: 71.1%
管内 計 11地区								4,669
								対象面積: 5,640ha
								カバー率: 82.8%

## 地域の特色を生かした活動例

農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化



農作業準備休憩施設(高倉)の葺き替え作業



しめ縄づくり体験



稲作体験 (途絶えた稲作を復活・継承)







# 6. 国営事業概要

## 1 概要

事業名	国営かんがい排水		地区名	沖永良部	
受益面積	町別	面積	期間		
	和泊町	704ha	調査・計画 H11.4~H16.3		
	知名町	793ha	全体実施計画 H16.4~H19.3		
	計	1,497ha	予定工期 H19~R7年度(予定)		
事業費(千円)	総事業費		令和3年度まで	進捗率	令和4年度
	35,015,000		32,969,565	94.2%	762,000
主要工事諸元					
施設名	計画諸元				
沖永良部地下ダム	形式	流域面積	堤高	堤長	有効貯水量
	連続壁式	13.26km <sup>2</sup>	48.2m	2,669.4m	596千m <sup>3</sup>
余多揚水機場	箇所数	計画揚水量	実揚程	全揚程	揚水形式
	1箇所	8.13m <sup>3</sup> min×2台	142.4m	171.0m	横軸渦巻型φ300×2台
用水路	形式	延長	施設規模	通水量	
	パイプライン	44.1km	φ450~φ75	0.271~0.011m <sup>3</sup> /s	
大山吐水槽	1箇所	RCタンク V=800m <sup>3</sup>			
ファームボンド	2箇所	越山FP PCタンク V=8,079m <sup>3</sup>		下城FP PCタンク V=3,985m <sup>3</sup>	
管理施設	一式				

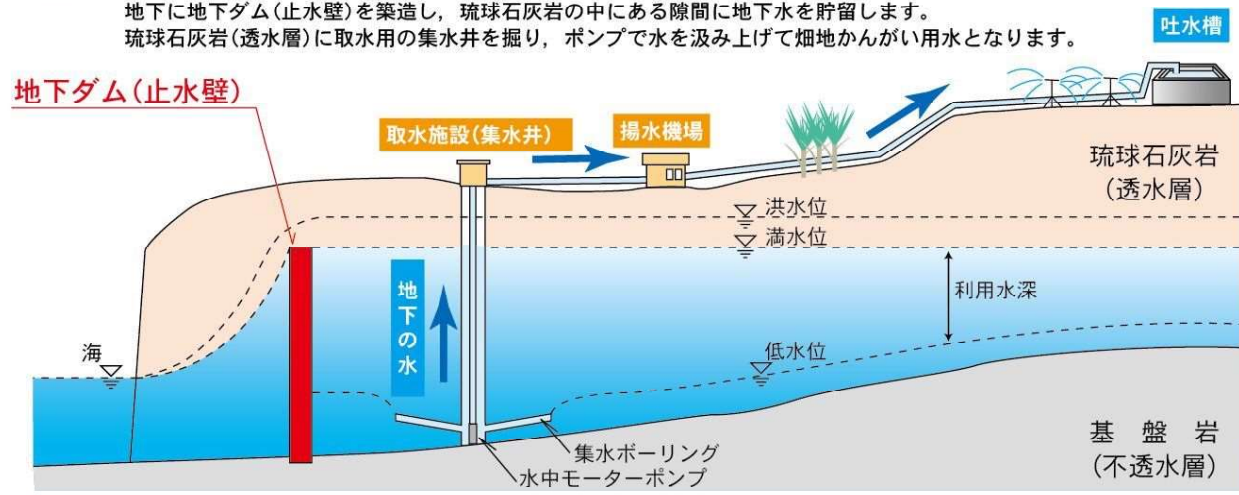
平成20年6月に国営沖永良部土地改良事業促進協議会設立。  
 平成20年7月に沖永良部島畑地かんがい営農推進協議会設立。

## 2 計画平面図



## 3 地下ダムの仕組み

地下に地下ダム(止水壁)を築造し、琉球石灰岩の中にある隙間に地下水を貯留します。  
 琉球石灰岩(透水層)に取水用の集水井を掘り、ポンプで水を汲み上げて畑地かんがい用水となります。







# 7. 農業用水施設(ため池)位置図

※丸囲みの番号は「防災重点ため池」

## 知名町(ため池)

番号	ため池名	容量(m <sup>3</sup> )	番号	ため池名	容量(m <sup>3</sup> )
1	田皆池	11,000	21	山田ダム	144,000
②	竿津池	2,050	22	第2大当池	14,000
3	正名池	4,350	23	新雪取池	17,000
4	奥池	13,600	24	第一住吉集水池	12,000
⑤	屋生子池	6,960	25	余多貯水池	55,500
6	大当池	23,800	26	宝田ダム	23,300
7	第1住吉池	3,450	27	田皆集水池	62,700
8	第2住吉池	7,600	28	徳時池	2,000
9	第3住吉池	2,300			
10	第2正名池	5,500			
11	第3正名池	1,700			
12	第3田皆池	3,300			
13	第4田皆池	5,800			
14	第5田皆池	1,900			
15	大当池	10,000			
16	雪取池	2,800			
17	知名池	2,000			
18	大野池	2,500			
19	第2田皆池	7,800	計	28箇所	
20	新城池	14,800		(防災重点ため池 4箇所)	

## 和泊町(ため池)

番号	ため池名	容量(m <sup>3</sup> )	番号	ため池名	容量(m <sup>3</sup> )	番号	ため池名	容量(m <sup>3</sup> )	番号	ため池名	容量(m <sup>3</sup> )	番号	ため池名	容量(m <sup>3</sup> )
1	ジバチ池	450	21	上手東池	6,150	41	松の前池	39,600	61	伊延池②	200	81	第二坊ヤ田池	60,000
②	耳付池	93,900	22	上手中池	2,160	42	瀬名新池	4,100	62	伊延池③	200	82	池当池	45,000
3	与名沢池	680	23	中村池	4,100	43	瀬名前池	1,400	63	第2伊延池①	200	83	第二長畠池	70,000
4	安待池	3,200	24	上手前池	11,750	44	フイチョ池	470	64	第2伊延池②	200	84	テーガナシ池	12,300
⑤	国頭新池	3,000	25	畦布東原池	4,200	45	砂葉池	6,220	65	第2伊延池③	200	85	出花泊池	9,000
6	国頭前池	6,670	26	名川池	6,200	46	畦布大当池	20,000	66	湾仁屋池	2,510	86	朝知野池	5,640
⑦	国頭伊池	6,270	27	福辻池	10,630	47	皆川新池	5,600	67	大読池	3,900	87	筒岩調整池	50,000
8	平安潤池	2,680	28	和前池	15,900	48	窪田池	2,700	68	奈計池	1,860	88	筒岩中継池	4,000
9	水附池	6,100	29	和伊池	4,860	49	良木屋池	2,740	69	大阿丹池	1,790	89	上原4号池	40,700
10	西原上原池	16,200	30	東場池	660	50	手附池	5,300	70	和地区調整池	60,000	90	和の新池	2,000
11	西原伊原池	7,900	31	比那葉池	1,200	51	大城新池	600	71	長畠1号池	32,000	91	田志木名池	3,000
12	坊ヤ田1号池	60,000	32	福場池	3,600	52	喜美留新池	650	72	長畠2号池	27,200			
13	坊ヤ田2号池	27,200	33	大城伊知池	7,500	53	出花東池	4,000	73	汐海調整池	64,000			
14	上原1号池	50,500	34	根折前池	3,800	54	内城上原池	1,200	74	南原池	4,000			
15	上原2号池	50,500	35	根折中池	6,000	55	第2上原池	200	75	黒瀬池	3,000			
16	入田池	5,500	36	根折新池	17,000	56	筒岩池	2,000	76	畦布伊原池	2,000			
17	池の当地	13,000	37	運当池	5,400	57	福土池	3,000	77	阿賀礼池	105,000			
18	出花前池	7,900	38	名里池	2,500	58	新村池	200	78	内田池	2,760			
19	出花新池	8,250	39	川内池	3,400	59	皆川池	200	79	逢久池	11,680			計 91箇所
20	池鎌池	11,300	40	永嶺前池	94,500	60	伊延池①	200	80	笠石池	21,200			(防災重点ため池 18箇所)

## 与論町(ため池)

番号	ため池名	容量(m <sup>3</sup> )	番号	ため池名	容量(m <sup>3</sup> )
1	菅原池	8,000	16	第2那間1号池	5,900
2	叶池	15,000	17	第2那間2号池	2,700
3	朝戸池	28,000	18	第2那間3号池	19,000
4	岸元池	7,500	19	那間1号池	8,000
5	第1-2兼母池	5,500	20	那間2号池	19,000
6	南兼母(旧小浜)池	27,000	21	那間3号池	47,000
7	ヒグチ池	7,700	22	東与舎池	20,000
8	塩川池	10,000	23	立花池	15,000
9	敷正(旧川原)池	61,500	24	麦屋池	68,000
10	瀬根奈池	2,000			
11	真正池	11,000			
⑫	前浜池	70,000			
13	叶1号池	93,000			
14	叶2号池	11,000	計	24箇所	
15	第2真正2号	6,000		(防災重点ため池 1箇所)	



ため池百選に選定された「松の前池」(和泊町)

